



Serve to Change Lives

ガバナー月信

国際ロータリー第2550地区



2021-2022年度 12月号



<神戸製鋼所真岡発電所>

日本初の本格的な内陸型火力発電所。都市ガスを使用した最新鋭のガスタービン・コンバインドサイクル発電方式による高効率の発電所。1号機が2019年10月1日、2号機が翌年3月1日営業運転を開始。発電規模合計124.8万kW。県内の電力自給率向上に寄与。

Contents

ガバナーメッセージ	2	新入会員紹介	16
「疾病予防と治療」月間に因んで	3	2021-2022 地区内主要行事	16
ガバナー公式訪問並びにクラブ紹介(奉仕事業)だより	5	コーディネーターニュース	17
地区大会実施報告	10	物故会員	19
米山奨学生研究発表	12	<矢板RC>クラブ事務所変更のお知らせ	20
ロータリー財団地区補助金今年度支援事業報告	14	10月会員数報告	20



「疾病予防と治療」月間に寄せて

国際ロータリー第2550地区 2021-22年度ガバナー

石田 順一 (真岡ロータリークラブ)

10月24日、縮小した地区大会となりましたが、多くの皆様方に参加いただき開催することが出来ました。本当に有難うございました。

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の発出、解除が繰り返され、にっちもさっちも行かなかった年を、何とか乗りきった一年だと感じます。県内における感染者は少ない状況になりましたが、気をゆるめずと再度警戒ステージの引き上げがなされることとなります。まだまだ慎重な行動が必要です。

今年を振り返りますと、急速に経済は悪化しリーマンショック以来の世界不況と言われる中、復興五輪等の開催がインバウンドの増加等経済成長戦略により低迷した経済の回復が期待されましたが、開催したものの無観客開催やインバウンドの入国制限など残念ながら経済効果は期待された程見込めませんでした。さらに、R I が2月開催予定の国際協議会、台北国際大会などがバーチャル開催となり、また殆どの会合が中止あるいはオンライン (Zoom) ミーティングでの開催となってしまいました。

RIは2021年内、ロータリアンの健康と安全を優先し、会合についてはオンラインを推奨しておりました。感染地域には偏りがあるため、8月・9月の公式訪問は会長・幹事懇談会のみを対面で行わせて頂きました。各クラブの皆様にご直接お目にかかる事ができず、前期が終わってしまいます。非常に残念な事ではありません。

2022年はどの様な年になっていくのでしょうか。現時点で地区のロータリー会員も年当初比ほぼ横ばいの状況です。しかし、手をこまねいてはいけませんし、諦めず、各クラブの戦略を立てて皆様と共にクラブ強化を考えなければなりません。

佐貫年度も国際協議会がリアル開催かオンライン開催か分かりませんが、着実に次年度に向けて準備が進んでいます。今年に限らず今後のプログラムは形を変えての活動や、断念せざる得ない事もあるかと推察致します。コロナ禍で自国主義を感じる事もありますが、RIの会員メンバーである私たちの使命は、地域社会での奉仕の他に、世界理解、親善、平和を目指しているかぎり、国を超えての奉仕活動も進めなければいけないと思います。

12月は、ロータリーの重点分野である「疾病予防と治療」月間です。

新型コロナウイルス感染者発覚後、徹底的な検査、聞き取り調査が実施される中、新型コロナウイルス感染症の分類が「指定感染症」から「新型インフルエンザ等感染症」に変更され、政府から感染予防対策への協力が求められてきましたが、幾度となく感染者数の拡大が起きてきました。今冬、感染症の専門家からは感染者拡大第6波があると言われる中、従来の感染予防対策に慣れた国民が感染しないために正しく判断して行動するにはまだまだ時間がかかりそうです。

今こそ、行動人である私たちが互いに手を取り、助けを必要とする人たちに迅速な支援をするときだと思いますし、世界的規模での研究で、有効な具体策が策定され、我々ロータリアンによる実行力のある活動を役立てることが出来れば嬉しいことです。

今年も、ロータリアン、ローターアクターにとってご苦労された年だと感じています。地区行事も多くが異例づくしでしたが、ご理解を頂き、暖かい友情とご協力により、なんとか半年活動できました事に対し改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

健康管理にはくれぐれもご留意くださいますよう重ねてお願いいたしまして、2021年の締めくくりに挨拶とさせていただきます。

来年は、皆様にとって、良い年でありますようお祈りいたします。



「ポリオ・プラスの現状と今後の活動計画」について

RI2550地区

ポリオ・プラス並びに資金推進委員会委員長

村井 邦彦 (宇都宮西RC)

1. ポリオ・プラス・プログラム

「ポリオ・プラス・プログラム」はポリオ(脊髄性小児マヒ)を地球上から根絶することを目的とする国際ロータリーの主要事業のひとつです。「プラス」とは、ポリオのほか麻疹(はしか)、ジフテリア、結核、破傷風、百日咳の五つの主要伝染病をプラスして同時追放を目的とすることを含みます。また、水へのアクセス、医療援助、蚊帳や石鹸などの衛生環境整備、食料の確保も含まれます。WHOの保健員に支給する資金の91パーセントを支援しますが、85パーセントの保健員はその時間の半分をポリオ以外の黄熱、エボラ出血熱、マラリアなどの疾病のための予防接種、監視活動、疾病発生時の対応などにも当たっています。ときにはポリオサバイバーに仕事の機会を生み出す活動もします。このように、「ポリオ・プラス」という用語は、世界的なポリオ根絶活動がもたらした遺産や多くの研究結果による功績を幅広く意味するようになっていきます。



国際ロータリー(RI)は1979年にフィリピンの子どもたちにポリオ予防接種を始めました。創立80周年にあたる1985年に、2000年までにポリオを一掃し、100周年にあたる2005年までにポリオ根絶を証明する目標を決め、1億2000万ドル(120億円)を集める声明を出し、「ポリオ・プラス・プログラム」を設けました。しかし、残念ながらこれは実現しませんでした。

2007年の規定審議会ではポリオ根絶をRIの最優先目標にすることが承認され、野生型ポリオウイルスの根絶が証明されるまでは他のコーポレート・プロジェクトを採択しないことが決まりました。

2. ポリオとワクチン接種

ポリオとは、ポリオウイルス1型、2型、3型によって発症する感染症です。感染者の4~8%に胃腸炎や風邪のような症状が出現し、約0.1~2%に麻痺が生じます。5歳以下の小児の感染が多いため「脊髄性小児麻痺」とも呼ばれます。麻痺が生じた場合の死亡率は、小児では2~5%、成人では15~30%です。感染経路は主に感染した人の便で、ウイルスが食べ物やおもちゃを通じて経口感染し、腸管内で増殖し、糞便中に排出されます。

ポリオを予防するためにワクチン接種が行なわれます。

経口生ワクチンは、ポリオウイルスの病原性を弱めてつくったものであり、免疫をつける力が優れている一方、1/200~300万の確率でまれにポリオの症状が出ることがあります。現在、経口生ワクチンによるポリオ症状を起すにくい新たな経口生ワクチンの使用が始まっています。

不活化ワクチンは、ポリオウイルスを不活化し、病原性を無くしたものです。不活化ワクチンは経口生ワクチンによるポリオ症状が起きない反面、高コスト、注射手技、医療廃棄物などの欠点があります。先進国では主に不活化ワクチンが採用されています。

「疾病予防と治療」月間に因んで

3. 日本におけるポリオ

日本では1940年代頃から全国各地でポリオの流行がみられました。1960年には北海道を中心に5,000名以上の患者が発生する大流行となり1961年に生ポリオワクチンを緊急輸入することで流行は終息しました。1963年からは国産の生ポリオワクチン2回投与による定期接種が行われるようになり、1980年を最後に野生型ポリオウイルスによる発症例は見られていません。

2012年からは生ポリオワクチンの定期予防接種が中止され、不活化ポリオワクチンの定期接種が導入されました。現在、日本で生まれた赤ちゃんは、生後に3回、追加で1回の計4回のポリオ不活化ワクチンを「四種混合」(百日咳、ジフテリア、破傷風、ポリオ)として注射されています。発症例が無い日本でも、世界のポリオ根絶が宣言されるまでは予防接種を続ける必要があります。

4. 残された課題

1988年に世界中で年間35万件だった野生型ポリオの発症例は、2020年にアフガニスタン56例、パキスタン84例の2か国に減りました。しかし、これらの地域では、遠隔地、不十分な公共インフラ、紛争、文化的障壁といった要因が、予防接種活動の妨げとなっています。

ポリオを根絶するまでは世界中の国が再発生のリスクに晒されています。ポリオ根絶の手を緩めるとポリオは再び世界に広がります。その場合、10年間で毎年20万人の子どもが小児麻痺に陥る可能性があるとして推測されています。このために、日本を含む世界中で、毎年4億人の子どもたちにワクチン接種が行われています。このコストは20年間で500億ドルと見積もられています。

5. GPEI (Global Polio Eradication Initiative: 世界ポリオ根絶推進活動)

世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)は、1988年に第41回世界保健機関で設立されました。以降、ポリオ根絶に向けた事業はコア・パートナー及び各国の資金拠出によりGPEIとして推進されています。GPEIは1988年にRI(国際ロータリー)、WHO、UNICEF、CDC(米国疾病対策センター)をコア・パートナーとし、2009年にBMGF(ビル&メリンダ・ゲイツ財団)がこれに加わりました。さらに2019年にはGabi:「ワクチンと予防接種のための世界同盟」が加わりました。GPEIは2020年におよそ6億5200万ドル(約710億円)をプログラムに支出しました。例年、10億ドル前後がGPEIプログラムの支出額です。

RIはこれまでにおよそ9億ドルをポリオ・プラスに支出してきました。RIは今年度も年間5,000万ドルの資金提供を約束する声明を出し、この5,000万ドルに対してBMGFが2倍の1億ドルを拠出することを決めています。このようにして、ポリオ・プラス基金は年間1億5000万ドルとなっています。

接種活動は、主に発展途上国の厚生省、地方自治体保健当局などと協力して実施されています。RC会員はワクチン輸送、広報、医務要員の手当などに協力しています。ポリオ・プラス基金はワクチンの取得や投与のほか、監視活動や啓発活動などにも使われています。

6. ゴール

ゴール1: アフガニスタンとパキスタンで全てのポリオウイルスの伝播を永久に阻止する

ゴール2: ワクチン由来のポリオウイルスの伝播を阻止しポリオフリー地域での再流行を防ぐ

「疾病予防と治療」月間に因んで

7. 今後のロータリー活動計画

ロータリーでは、地区にポリオプラス担当の委員長を任命し、ポリオプラスへの寄付の推進、ポリオプラスに財団活動資金(DDF)の20%を寄贈、世界ポリオデー(10月24日)に啓発イベントの実施、世界予防接種週間(4月の最終週)を推進しています。

年間5,000万ドルの寄付を達成するための試算として、ロータリアン1人がUS\$30の寄付、地区が財団地区活動資金の20%以上の寄贈、クラブが1クラブUS\$1500の寄贈が必要と見積もられています。年間の日本のロータリーの募金目標額は40億円です。

10月24日は世界ポリオデーとして、ロータリーではボランティア活動、アドボカシー活動などの大規模なキャンペーンを展開し、ロータリアンがポリオ根絶活動について学ぶ機会を作るとともに、多くの人たちにロータリーのポリオ根絶活動を紹介しています。

10月24日は不活化ポリオワクチンを開発したソーク博士の誕生日です。テーマカラーの紫色は、ワクチンを受けた子どもの爪に紫の染料を塗って接種の記録にしたことに由来しています。

8. ロータリーカード

10月号13ページで紹介しています。参照下さい。

ガバナー公式訪問並びにクラブ紹介(奉仕事業)日より

10/5火 宇都宮陽北ロータリークラブ

会長 田中 豊治
幹事 杉本 勝



10月5日(火)石田ガバナー・坂寄 修一ガバナー補佐をお迎えし、当クラブ例会場にて公式訪問がお行われました。

今回の公式訪問は約2か月にわたり栃木県に発令されておりました非常事態宣言が解除となったそのわずか5日後ということもあって、行動制限規制に充分配慮して開催せざるえず、例年の公式訪問とは随分と異なる形式で開催されました。

例会に先だち行われた懇談会は最小人数とし(会長/幹事・会長エレクト・幹事エレクトのみ)、出席者全員での集合写真撮影は見合わせ、例会終了後のフリートーキングも残念ながら見合わせました。

当日はおおよそ2か月ぶりの例会開催でしたがクラブにとりまして特別な日となりました。石田ガバナーより卓話をいただくことができ、シュカール・メータRI会長の

ビデオスピーチをはじめとして最近の国際ロータリーの動向を知ることができました。

当クラブも他クラブ同様、コロナ感染流行の影響により奉仕活動・親睦活動等に困難をかかえロータリー活動全般が思うにまかせぬ状況にあります。この難局をのりこえるために有益ないくつかのアドバイスをガバナーからいただき極めて有意義な例会となりました。

<我クラブが今年度予定している主な奉仕事業>

- 1.『良い子に絵本を読み聞かせる会』の開催、および絵本寄贈事業
- 2.障害者就労支援事業所『ビハタ鶴田作業所』での歯科検診事業
- 3.貧困児童支援事業所『キッズハウス・いろどり』への物資支援および寄付金贈呈
- 4.『キッズハウス・いろどり』昼替えプロジェクト(ロータリー財団の地区補助金を利用した事業)
- 5.公益財団法人『東日本盲導犬協会』への寄付事業。

以上の5つの事業が予定されており、うちすでに実施された事業もあります。

年度内に全て実行できるものと確信しております。

10/6水 益子ロータリークラブ

会長 関口 勝義
幹事 山田 裕治



9月末で緊急事態宣言が解除になり、益子クラブとしては10月から例会を通常通り行うという決断をし、それに伴い予定通りガバナー公式訪問を行うことにしました。当日2550地区専用ロータリーカーで石田順一ガバナー訪れ、11時より石田ガバナー、高山ガバナー補佐、岡本地区大会実行委員長、会長、幹事で事前懇談会をおこない、現況報告書の内容について意見をいただきました。特に新入会員については深く意見を交換し、今後いかにしたら会員増強につなげられるかという問題のご指導をいただきました。幸い10月から一名の会員が入会となることになって、少し安堵している状況であります。

その後、写真撮影を行ない、定刻通り例会が始まりました。石田ガバナーからはプロジェクターを使っの丁寧なご指導をいただき、会長を中心に一致団結し、職業奉仕を通して会の発展に努めてください、というお言葉をいただきました。残りの8ヶ月間、更なる発展を目指し一生懸命頑張ろうと強く決意した次第であります。なごやかな中、公式訪問が終了いたしました。石田ガバナー、高山ガバナー補佐、岡本実行委員長、地区会計長、誠にありがとうございました。

<我クラブの奉仕事業>

1、芳賀郡内小学校対象の少年サッカー大会

本年で第36回目を迎え10月24日曜日に益子南運動公園で行われます。栃木国体のサッカー会場になっておりまして芝生張替竣工記念も併せて行われチームU12が6チーム、U10が6チームで戦うことになっております。

2、芳賀郡内小中学校対象の陶芸教室の開催

各学校の特別支援学級の子供たちを対象に、本年で第34回陶芸教室を6月に予定しております。株式会社つかもと様のご協力と陶芸家のご指導を得ながら、楽しく行ってきております。また出来上がった作品を『ふみの森もてぎ』で展示し、多くの方に感動をいただいております。

3、益子町、市貝町、茂木町への奉仕事業

益子町のメイン通りのゴミ拾い活動、会員全員でロータリージャンパーを着てのゴミ拾いを行います。拾い上げたごみは当クラブの会員の好意により分別して処理します。

市貝町では役場の担当者のご指示で同じく道路のゴミ拾いを行う予定にしております。

茂木町では当クラブの会員で数年前から城山公園にアジサイを植樹いたしまして、その手入れや草刈り等を茂木中学校の生徒たちと行っております。

9/15水 宇都宮陽東ロータリークラブ

会長 長谷川 晃
幹事 広瀬 孝次



今回のガバナー公式訪問では、万全な感染防止対策の下、当クラブからは会長・幹事、次年度会長・幹事4名の参加となりました。石田ガバナーの方針、お考えを伝授頂き、我がクラブではそれを基にした活動方針などをお話いたしました。またガバナーの所属クラブの活動内容や他クラブの活動状況等をお聞かせ頂き、クラブ運営に大変参考になる内容でした。それらを当クラブにおいても実践して行けるよう努力をして参ります。コロナ禍の為短い時間ではありましたが、貴重なお話を頂き誠に有難うございました。

当クラブの現状としては、コロナ禍において例会の在り方を模索するため、オンライン検討委員会を発足し、情報委員会と共に手探りで環境を整えてまいりました。その結果、若手会員の活躍もあり、リアル例会とオンライン例会のハイブリッド方式を確立することが出来ました。オンライン出席者が例会に実際に参加している実感を出せるよう、カメラの台数を増やすなどリアル感と質の向上に努めているところです。ZOOMで気軽に例会に参加していただき、毎回参加したいと思えるような、

ガバナー公式訪問並びにクラブ紹介(奉仕事業)だより

楽しく有意義な例会を取り戻していくこととしています。更にはその例会のカメラ映像を利用し、会報等のデジタル化を目指していくなどあらゆる面でIT化を推奨しております。

そして次年度は、当クラブにとって非常に重要な年度となります。当クラブの佐貫会員が現在ガバナーエレクトとして、日々忙しく活動をされています。佐貫ガバナー誕生に向けてクラブ一丸となってサポートを続けて参ります。

また、次年度は当クラブが記念すべき30周年を迎え、大きな記念行事が予定されていることもあり、実行委員長を中心に次年度会長・幹事も加わってアクティブに次年度の準備を進めているところです。

今後も石田ガバナーご指導の下、歩みを止めず、みんなの人生を豊かにするための奉仕活動等を実践していきます。

<我クラブの奉仕事業>

当クラブの主な活動としては、子どもの貧困問題に焦点を当てた活動を会長方針に掲げ推進しています。子ども食堂へ毎月野菜・果物の提供を2019年から継続し、現在まで20トンの提供となっています。また、今年度は地区補助金も活用し、社会奉仕活動の一環として、その“子ども食堂”に野菜・果物等を配送して回っている“お宝食堂”(一般社団法人)に配送用の車両を寄贈することが決定しており、その贈呈式のイベントも予定しています。

9/28(火) 宇都宮ロータリークラブ

会長 阿部 欣文
幹事 金子 昌郎



9月28日(火)宇都宮東武ホテルグランデにおいて、石田順一ガバナー、坂寄修一ガバナー補佐、金子正男地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問が行われました。今年度はコロナ禍の緊急事態宣言期間中となり例会はオンラインでの開催だったため、11時から会長幹事懇談会を開催し、その後ガバナーアドレスをビデオ撮影させていただき、その内容は次回の例会の卓話の時間に放映いたしました。

懇談会の中で、石田ガバナーからはシェカール・メータRI会長のメッセージのご紹介と、地区の方針・目標並びに現状について説明をいただきました。大きな目標の一つ、会員増強については当クラブでもコロナ禍で退会者が発生している状況を説明し、ガバナーからは銀行の支店長さん等に取引先を紹介いただくなど、他クラブで行っている会員増強、退会防止の好事例などをご紹介いただきました。純増5名を目標に、多様性を重視し昨今の新しい業種の方にも積極的にお声がけし、年度末には会員数を110名に戻す活動状況をお話いたしました。My Rotaryへの登録が進んでいない状況については、その活用事例を紹介し例会時に入力補助などの仕組みを作り100%登録を目指していきたいと思っております。

独自の取り組みとして、大手企業の支店長さんが多い当クラブの特徴の一つ「単身赴任の会」とその親睦活動、100年委員会の職業奉仕活動やSDGs委員会による社会奉仕活動などを紹介しました。社会奉仕活動については東日本大震災の復興支援の取り組みから「宇都宮さんま祭り」にまで発展した歴史。消防自動車の寄贈事業からグローバル補助金を活用した国際奉仕活動への展開などを紹介させていただきました。

コロナ禍で思うようなロータリー活動ができない中、石田ガバナーのアドバイスをいただき、このガバナー公式訪問が70周年を迎える年度として、気持ちを新たにできる機会となりましたこと感謝いたします。

<我クラブの奉仕事業>

【100年委員会】ロータリー誕生100年を記念し、「職業人集団がそれぞれの職業を極めてきたこれまでの体験を多くの若人に広くお伝えすることで、学ぶ意欲の向上やチャレンジ精神の高揚に資する」との志を掲げ設立した委員会です。それ以降毎年、宇都宮市内の中学校数校に当クラブ会員や外部講師が出前講座としておむき、中学生に働くことの意味や意義、職種や業種、働き方等を考える機会を提供しています。

【SDGs委員会】ロータリーの奉仕活動はSDGsそのものだとの思いから、昨年度より環境保全委員会がステップアップした委員会です。当クラブで奉仕活動のほかに、各会員企業においての優れたSDGs活動をピックアップし「SDGs賞」として表彰をしています。また今年度は宇都宮市とフードバンクうつのみやで行っている「フードドライブ」事業への協力や、70周年の記念事業として、子ども食堂支援事業を計画しています。

ガバナー公式訪問並びにクラブ紹介(奉仕事業)だより

9/30^木 小山ロータリークラブ

会長 館野 敏
幹事 後藤 之江



9月30日(木)、小山グランドホテルにて、石田順一ガバナーを公式訪問のお迎えをしました。まだ、栃木県は「緊急事態宣言」にあり、小山RCは、8月26日から例会はコロナによる影響で休会中です。何とかホテルの協力を得て、コロナ対策を万全に準備し、本日公式訪問をさせていただきました。本来は、例会を開いて、小山RCの会員全員でガバナーのご指導をお受けしたいのはやまやまでしたが、仕方ありません。私と後藤之江幹事がクラブを代表して、小山RCの現況をお話するとともに、クラブの悩みを聞いていただきました。今年は、小山クラブから小浦ガバナー補佐を輩出しており、オブザーバーとして会議に加わっていただき、活発な

ご意見をいただきました。

どこのクラブも悩みの種だと思いますが、小山クラブも会員の減少傾向に歯止めがかかりません。石田ガバナーにはいろいろ他クラブの対策をお伺いしました。少しでも会員が増加するようにご指導を生かして、頑張っていきたいと思います。

<我クラブの奉仕事業>

当クラブの奉仕活動につきましては、貧困及び障害児童への支援を中心に取り組んでいます。支援対象は、貧困や虐待、ネグレクトなどで居場所のない児童を受け入れている県南地域の「おひさま」「シリウス」「たんぽぽ」の3施設と「国分寺特別支援学校」の児童です。これまでの活動内容としましては、クリスマスやハロウィンなどイベント開催の例会に児童を招き、交流を深め、記念品などを贈呈する形でした。この形の支援でも、十分意義のある奉仕活動だと認識しております。

しかし、昨今のコロナ禍により問題の本質が変化していると思われまます。そのきっかけは、昨年3月から5月まで小山市内の小中学校が一斉に休校となり、給食が提供されなくなったことです。一般家庭の児童とは異なり、貧困家庭の児童にとって、この一食は栄養を補給する重要な一食であり、それが無くなったことで、お腹をすかせ辛い思いをしている児童がいることが浮き彫りになってきています。これまでも、各施設との交流を通じ、何となく感じてはいましたがここまで酷い(ひどい)状況にあるとは思っていなかったのが実状です。幸いにして、この時はクラブ会員に呼びかけ、個々の会員から友人、知人に、またグループ内の各クラブへと支援の輪が一気に広がっていき、結果的にこの地域だけでなく全国から救援物資が届けられ、児童の空腹を満たすことができました。このような実態は、なかなか知られていないのが実情です。ですから、当クラブでは、施設との交流をさらに深め、もっと貧困児童の実態を理解し、それを少しでも多くの方々にお伝えする啓もう活動を、現在、力を入れて取り組んでいます。

また、これも児童たちとの交流で感じるのですが、貧困児童や障害児童の多くは、生きるのが精いっぱい、あるいは障害を気にして、就業しようとする意識が希薄です。これでは、負の連鎖を断ち切ることはできないと思います。そこで、当クラブでは、仕事をする楽しさを児童に伝え、また、会員企業での就業体験を通じて、就業意欲を高める取り組みも展開していきたいと考えています。

10/4^月 宇都宮90ロータリークラブ

会長 鈴木 義忠
幹事 林 紀尚



2021年10月4日(月)、東武ホテルグランデにて石田順一ガバナーの公式訪問を開催することができました。

当初は、8月2日に予定されておりましたが、栃木県にも緊急事態宣言が発令されたことを受けて、延期となっております。さらに、9月末まで宣言が延長され、解除になるか直前までわからない状況で、理事会で開催の是非を検討し、フリーディスカッションの中止や全体での写真撮影を控える等ウイルス対策を可能なかぎり施すことで、なんとか開催にこぎつけることができました。

11時からの懇談会には、石田ガバナーの他、坂寄ガバナー補佐、随同行の真岡RC杉田様、細谷様をお迎えし、90RC側は会長、幹事の他、亀田会長エレクト、砂川幹事エレクトの計8名が参加しました。

ガバナー公式訪問並びにクラブ紹介(奉仕事業)だより

懇談会では、石田ガバナーより他クラブの動向や奉仕活動への取り組み等をお聞かせいただき、又今年度のRI方針やそれに基づく2550地区の方針等もご教授いただきました。

その後、例会の中で卓話もいただきましたが、全体を通して感じられたのが、石田ガバナーが本当に温厚な方である、ということです。地区内の全クラブを回るだけでも相当大変なことと思われるのに、柔和な表情や語り口は一切変わることはありませんでした。石田ガバナーのお人柄に触れ、やはりロータリーって素晴らしいな、と改めて感じさせていただきました。

石田ガバナーはじめ、ご来訪いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

10/7(木) 田沼ロータリークラブ

会長 井上 智史
幹事 納富慎太郎



10月7日(木)道の駅どまんなかたぬまにおいて、石田順一ガバナー、三好仁ガバナー補佐、ガバナー随行者2名をお迎えして、ガバナー公式訪問が行われました。

11時から石田ガバナー、三好ガバナー補佐、会長、副会長、幹事、副幹事の6名による会長幹事懇談会を行いました。懇談会の中では、会員増強、退会防止策、市民を巻き込む奉仕活動、SNS等の活用について、マイロータリーとクラブセントラルの登録等、多岐にわたってご指導をいただきました。

その中でも、石田順一ガバナーの所属クラブであります真岡RCが、周年の時に会員増強の目標数を定め、それを達成しているというお話を聞きました。当クラブも2年後は60周年を迎えますので、そのお話を参考にさせていただき、会員増強を進めていきます。

例会では、石田ガバナーより卓話をいただきました。シェカール・メータRI会長のテーマを、映像とパワーポイントを使用しながら詳しくご説明をいただきました。また、石田ガバナーの方針でありますクラブ戦略計画についてもご説明をいただきました。当クラブも60周年に向けてクラブ戦略について、会員全員でしっかりと話し合いながら構築していきます。

<我クラブの奉仕事業>

当クラブでは、奉仕事業として毎年どまんなかフェスタでチャリティーの福引を行い、その売り上げで福祉施設に車いすを寄贈しております。また、昨年度は田沼町に新しく開校したあそ野学園義務教育学校に防犯灯を寄贈いたしました。今年度は地元の青少年スポーツクラブにAEDを寄贈する予定です。今後も地域の発展に寄与できるよう様々な団体と協力しながら、奉仕活動に努めてまいります。

同 腹 一 心

RI2550地区 地区大会実行委員長
岡本 俊夫 (真岡RC)

令和3年10月24日。真岡ロータリークラブ会員はこの日を末永く胸に刻むことでしょう。天恵あらたかな秋晴れの日曜日、国際ロータリー第2550地区、地区大会本会議が開催されました。

当然のことながら、地区大会とはロータリアンにとって地区内最大のイベントであります。一昨年まで、開催地から遠方にあるクラブでは、いかに多くの会員を地区大会に出席させるかに腐心してきました。同じグループ内のクラブにおいては、会員全員の参加を目指したことは想像に難くありません。

ところが、昨年大田原中央RCが主催した地区大会は様相が全く異なりました。全世界を席卷した新型コロナウイルス感染は留まるどころを知らず、我々の日常生活を容赦なくいたぶったため、各クラブからの参加者は会長・幹事のみという前代未聞の大会となってしまったのです。

今年度石田順一ガバナーを輩出する当クラブとしては、昨年の森本敬三ガバナーの無念を晴らすべく、捲土重来、フルスペックの地区大会を実施することを念頭に準備を開始しました。しかしながら、最終的な決断を迫られた夏、日本国内の感染者数は1日2万5000人を超えるまでに至りました。

石田ガバナーも私も、地区大会の縮小に関しては断腸の思いでしたが、世情は如何ともしがたく、昨年同様各クラブの会長・幹事のみが出席する本会議1日限りの縮小版プログラムと相成った次第です。

ちなみに、本来であれば23日土曜日の地区指導者育成セミナーには釧路RCの小船井修一様を、鈴木喬RI会長代



地区大会実施報告

理御夫妻歓迎晩餐会にはフラメンコ舞踏家の「じゅりあん」様をお迎えする予定でした。また、本会議の記念講演をお願いしていた、日本サッカー後援会理事長でありメキシコオリンピック銅メダリストである松本育夫様の御光来を仰げなかったこともまた痛恨の極みであります。

それでも、縮小版地区大会とはいえ、我々真岡RC会員は決して気を緩めることなく、一致団結して事に臨みました。なにせ岡田昭郎ガバナー輩出より22年を経ての地区大会です。真岡RCの気概を示すはまさしく今。会員全員心が一つとなり、地区内クラブに誇れる大会を準備することができたと自負しております。

当日はYouTubeのリアルタイム配信も行い、参加が叶わない各クラブのロータリアンがライブで視聴することも可能な形態としました。鈴木喬RI会長代理の御挨拶と現況報告をはじめ、委員会報告、各種表彰。そして極めつけはそれらの合間に登場した「尊徳太鼓保存会」の生演奏です。全国和太鼓選手権大会女子の部で優勝した技量を遺憾なく発揮してくれました。大会終了後、数多くの方々からお誉めの言葉を戴き、私も実行委員長として感極まる思いでした。

本大会を開催するにあたり様々な御教示を戴いた宇都宮西RC、栃木RC、大田原中央RCの皆様、東京江北RCよりお越し戴いた鈴木喬RI会長代理御夫妻、エイドを務められた中谷研一研修委員長御夫妻、地区役員の方々、また、前日より御協力下さったコ・ホストクラブである益子RC、真岡西RC、しもつけRCの会員諸氏に、深く、深く感謝申し上げます。

さらに、公務に御多用を極められる中、御光臨戴いた栃木県知事福田富一様、真岡市長石坂真一様にもこの場をお借りして衷心より御礼申し上げます。

結びに、石田ガバナーが発信された「コロナ収束後には、これまで以上に活動的なロータリークラブになることを期待しています。」とのクラブ、会員へのメッセージをお伝えして、今大会の報告といたします。

令和3年10月24日。この日は私にとって生涯忘れ得ぬ日となることでありましょう。





足利大学工学部創生工学科機械分野3年
米山ロータリー奨学生
世話クラブ*足利RC

名前: WAN RINI AFUZA BINTI MOHD ASRI

ワンリニ アフザ ビンティ モハド アスリ

SUS409L鋼の疲労破壊抑制のための粒界制御プロセスの開発 -中r値BCC材料の粒界制御-

足利大学 工学部 創生工学科 機械分野 | WAN RINI AFUZA BINTI MOHD ASRI | 指導教員 小林 重昭

1. 研究の背景

1.1 SUS409Lフェライト系ステンレス鋼

- Cr, C量を低減
- Tiを微量添加(0.75mass%以下)
 - ①ランクフォード値(r値)が比較的高く、**塑性加工性を高めている**
 - ②高温時、**クロム系炭化物の生成を抑制**できる
 - ③**溶接性を向上**できる

用途

- 自動車排気部品
- 熱交換器等



https://www.hkspower.co.jp/en/product/exhaust/muffler/hipower409/index.html
図1 SUS409Lの応用

疲労破壊

- 機械が壊れる原因の約9割
- 結晶粒の微細化と低角粒界の高頻度の導入により疲労破壊を抑制

1.2 ランクフォード値と集合組織の形成

- r値が高いほど深絞り性(塑性加工性)が向上する

$$r = \frac{\ln(w/w_0)}{\ln(t/t_0)}$$

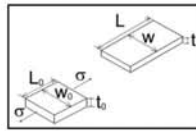


図2 r値の評価

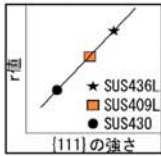


図3 r値と[111]の関係

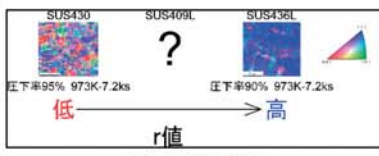


図4 r値の違いによるIPFマップの変化

1.3 結晶粒界の種類

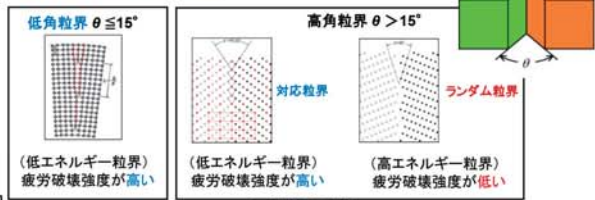


図5 粒界の種類

3.4 低角粒界導入の方法

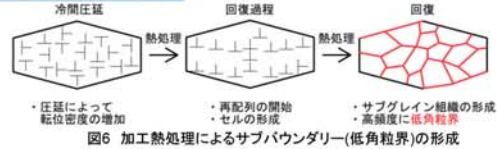


図6 加工熱処理によるサブバウンダリー(低角粒界)の形成

2. 目的

- 結晶粒の微細化と低角粒界の高頻度の導入による
- 腐食、疲労破壊のさらなる抑制
 - 塑性加工性のさらなる向上
- を目指し、圧延集合組織の発達に及ぼす圧下率の影響を明らかにする

3. 実験方法

- SUS409Lの冷延材→熱処理 T=1073K, t=7.2ks
- 圧下率 **70, 75, 80, 85, 90%**
- エメリー紙#150 ~ #1500
→バフ研磨(ダイヤモンドスラリー 9~0.5μm)
- X線回折測定(配向指数の評価)
- 硬さの評価 (F=0.98N, t=15s)



図7 バフ研磨機
図8 ピッカース硬さ計

4. 実験結果

4.2 冷間圧延による配向方位の変化

4.1 初期組織

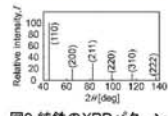


図9 純鉄のXRDパターン

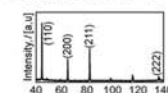


図10 初期組織のXRDパターン

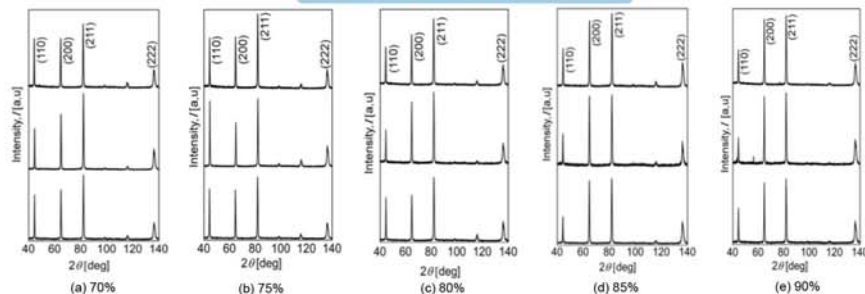


図11 圧延組織の変化によるXRDパターン

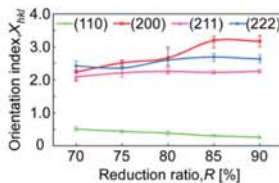


図12 配向指数と圧下率の関係

4.3 冷間圧延による硬さの変化

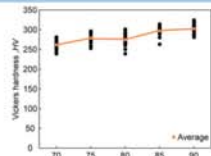


図13 硬さと圧下率の関係

5. まとめ

- 圧下率によって集合組織が変化した
- SUS409Lの圧延85%は十分で良いと分かった

後期の計画

- 圧延材料の熱処理による微細組織形成の評価
- 疲労試験



宇都宮大学大学院国際学研究科国際学専攻2年
米山ロータリー奨学生
世話クラブ*宇都宮陽北RC

名前:張 喬
チヨウ キョウ

「中国の SDGs に適う循環型社会形成に向けたガバナンス変革 —低価値容器包装ごみ循環を通じて—

張喬 宇都宮大学大学院国際学研究科国際学専攻

(指導教員) 高橋若菜 (教授) 宇都宮大学大学院国際学研究科国際学専攻

1. 研究の背景・目的

中国においては、80年代化の急速な経済成長に伴い、都市活動は増大し人々が生成し排出した生活ごみが急増し、深刻な問題を引き起こした。いかに都市生活ごみを効果的に分別収集し活用できるかは、今日の中国の重要な課題である。

中国では、人が集中する大都市圏と比べて、地方地域の生活ごみに関する研究、特にごみ分野のアクター分析に関する研究はまだ薄い可能性があるため、本研究は大半の人口が居住している中核都市に着目し、社会学の視点から生活ごみの循環システムを研究することは重要性が高い。

本研究では、中国における循環型社会形成推進策が SDGs には必ずしも適っていないという問題意識を念頭に、容器包装ごみの3Rを事例として、社会的問題の所在を可視化し、なぜ問題が引き起こされるのかについて構造的に捉え、SDGs にかなう方法で循環型社会形成に移行するには、どのようなガバナンス改革が必要かを他国との国際比較及び中国国内の事例比較を通じて考案することを目的とする。

2. 研究方法

(1) 文献調査

本研究は文献調査を通じて、分析概念及び対象事例の低価値容器包装ごみの循環状況についてデータを収集した。中国では、ごみに関連する研究は、理系、工学系、経済系の分野が主流であり続けている。一方、日本語や英語の参考文献では、ごみについて、多くの先行研究がある。そこで、先行研究レビューは、日本語や英語を中心に行い、中国語は補足的に用いた。これからも続いて文献調査を通じて、先行研究を行う予

定である。

(2) 実地調査→インターネット授業、オンライン講演会等

去年からコロナ禍の影響を受けて、フィールド調査が困難になってしまったが、インターネットで授業及びオンライン講演会などの参加を通じて、データの収集を行った。例えば、中国のプラスチック持続可能な発展学院という組織が行った「EPR 円卓論壇」、「プラのLCAと持続可能な発展」などと、日本環境倶楽部が行った、「プラスチック問題に寄与する技術革新を探る」、「フューチャー・デザイン—持続可能な脱炭素社会に向けて」などに参加した。

これから、コロナから回復してから、対象事例を巡って、実地調査、インタビューなどを行う予定である。

3. 研究の進捗状況

現在の段階には、先行研究を通じて、これから使う予定の分析概念を整理してきた。また、中国国家レベルの政策変遷及び関連アクター中のスカベンジャーの形成歴史及び現在の社会的位置付けについて、データを収集してきた。

4. 今後の展望

現地調査については、コロナの状況で、いつ実施できるかはまだ未知数である。必要に応じてオンラインでのヒアリング等も視野に入れつつ、今年中の中国での現地調査のタイミングを探る。中国国内で現地調査については、例えば、政府環境部門でのインターン、現地企業での見学、NGOでのボランティアなど、参与型観察も視野に入れている。日本については、日常的に日本に住んでいる利点を利用しつつ、NGOとの共同活動なども踏まえて、参与型観察をさらに進めていく。



「2021～2022年度」当地区補助金申請状況について

地区補助金委員会委員長 **熊倉 学**(宇都宮陽北RC)

今年度も昨年を上回る35補助金申請がありました。

過去5年間の件数は、2016～17年度31件、2017～18年度33件、2018～19年度27件、2019～20年度31件、2020～21年度34件となっています。

2550地区は現在48クラブありますので、今年度においては7割強のクラブが補助金事業に参加され、この5年間では増加傾向にあります。

既にご承知のようにこの補助金の原資は3年前の当地区の寄付金(年次基金の元金、他の基金の利息)が原資となっています。それを3年間運用しシェアシステムによりその総額の1/2ずつが地区のDDFとWFに、更にDDFの1/2、つまり総額の1/4が地区補助金の原資となっています。(TRFは2021年7月より総額から5%の事務運営費を引くので、残りの95%が分配額原資となります)

この原資が皆様方の補助金事業へ分配されることになるのですが、原資が足りないと、必要十分な分配が出来ません。

皆様方の更なる寄付へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

*地区補助金委員会では11月の財団月間月に関わらず、ご要望があれば卓話に参らせて頂きますのでお申し出下さい。

2021-22年度 地区補助金 DG2229985

番号	クラブ名	活動内容(プロジェクト名)	活動の実施地	配分予定額(米ドル)	レート	振込金額(円)
1	大田原	大田原市内の小学生にノートパソコンを贈る	日本	\$1,778.00	110	¥195,580
2	黒磯	地域の小学校へのテント寄贈事業	日本	\$1,778.00	110	¥195,580
3	西那須野	障害児・者トータルサポートセンター「にしなすの」へブランコ等の遊具を寄贈	日本	\$1,248.00	110	¥137,280
4	大田原中央	国際医療福祉大の学生に食糧支援	日本	\$2,309.00	110	¥253,990
5	氏家	桜を愛でる地域づくり、桜の木の購入費	日本	\$1,778.00	110	¥195,580
6	矢板	小学校の水道栓を感染対策品に変更する。購入・工事費	日本	\$1,493.00	110	¥164,230
7	馬頭小川	青少年へのSDGsに関する河川に於けるプロジェクト。あゆのつかみ取りの場に河川会場設営費	日本	\$1,615.00	110	¥177,650
8	宇都宮	インターアクト達が企業や団体にてSDGsの研修をする際の交通費	日本	\$1,697.00	110	¥186,670
9	宇都宮90	COVID-19感染防止のための消毒・除菌に使用する次亜塩素酸の空間除菌脱臭購寄贈	日本	\$1,738.00	110	¥191,180
10	宇都宮陽北	貧困児童支援施設の畳替え費用	日本	\$1,534.00	110	¥168,740
11	宇都宮南	フィリピンの貧困家庭の子ども達600人にTシャツの寄贈と輸送費用	フィリピン	\$1,656.00	110	¥182,160
12	宇都宮陽東	子ども食堂へ食材の配送をしているお宝食堂に配送車両の寄贈	日本	\$1,493.00	110	¥164,230

ロータリー財団地区補助金今年度支援事業報告

13	宇都宮陽南	児童養護施設へ贈る本の作成費用	日本	\$1,003.00	110	¥110,330
14	真岡	高齢者や身障者は引きこもりがちになるので野外スポーツを推進。その為のテント代と参加者への商品代	日本	\$1,819.00	110	¥200,090
15	真岡西	青少年健全育成の一環として県内女子中学生バレーボール大会を開催。その商品代に当てる。	日本	\$1,289.00	110	¥141,790
16	しもつけ	未就学児への絵本寄贈費用	日本	\$1,452.00	110	¥159,720
17	小山	貧困及び軽度障害児童への就業支援。 児童の弁当代とパンフレット作成費用	日本	\$1,125.00	110	¥123,750
18	小山東	交通安全用横断旗作成費用	日本	\$643.00	110	¥70,730
19	栃木西	学童野球の練習球、ユニフォーム、参加賞のタオル購入費用	日本	\$881.00	110	¥96,910
20	壬生	こどもと環境を考える活動支援	日本	\$1,574.00	110	¥173,140
21	栃木南	栃木市大平公園に防犯カメラ設置費用	日本	\$1,574.00	110	¥173,140
22	鹿沼	家庭で出る不要の靴や衣類、使わなくなった楽器等を日本のNPO法人「SBハートステーション」の本部(埼玉県さいたま市岩槻区)に送る。その際の消耗品全般(手袋、マスク、消毒液、布テープ)と文房具(鉛筆、系ゴム、ノート)の購入費用。	日本	\$1,574.00	110	¥173,140
23	宇都宮東	知的発達障害児施設へ屋外遊具の寄贈	日本	\$1,697.00	110	¥186,670
24	今市	家庭で安心して暮らせない子どもたちを「いちご狩り」に連れていく交通費、入園料、食事代と本の寄贈費用	日本	\$1,289.00	110	¥141,790
25	鹿沼東	子ども食堂へ食材の提供。その食材(野菜、米、肉)の購入・運搬費用	日本	\$1,738.00	110	¥191,180
26	鹿沼中央	鹿沼城跡に石碑の建立建設費	日本	\$962.00	110	¥105,820
27	今市きぬ	地元大谷河川敷の桜の木の手入れと管理及びその肥料代	日本	\$1,656.00	110	¥182,160
28	足利	「1日限りの美術館」開催で、地元芸術家を含む絵画・美術品の展示会場費と絵画レンタル費用、パンフ作成費用。	日本	\$2,799.00	110	¥307,890
29	足利東	地元駅前のベンチの老朽化で、新しいベンチの寄贈費用	日本	\$1,901.00	110	¥209,110
30	佐野	地元の老人会に夜間の安全確保のために光る腕章の寄贈費用	日本	\$1,959.00	110	¥215,490
31	葛生	地元小中学校へ飛沫防止パネルスタンドと非接触型サーモネージャーの寄贈費用	日本	\$2,196.00	110	¥241,560
32	田沼	地元アスレチッククラブへAEDの寄贈費用	日本	\$1,125.00	110	¥123,750
33	佐野東	乳児院の子供達に遊具の寄贈費用	日本	\$1,289.00	110	¥141,790
34	宇都宮西	米国ブランダイス大学(脳科学)留学	米国	\$8,108.00	110	¥891,880
35	宇都宮北	オランダユトレヒト大学(公立)留学費	オランダ	\$8,108.00	110	¥891,880
	2550地区	セミナー開催時の会場費、資料作成費用	日本	\$2,960.00	110	¥325,600
		管理運営費		\$2,125.00	110	¥233,750
		合 計		\$72,963.00		¥8,025,930

新入会員紹介



関口 泰成

宇都宮東RC
2021年10月5日入会

株式会社ミナシハウジング
代表取締役

還暦を前に改めて自分を見直す機会と奉仕の精神に携わって見たい。



吉田 努

宇都宮東RC
2021年8月31日入会

群馬銀行 宇都宮支店
支店長

宜しくお願い致します。



大串 政希

葛生RC
2021年9月29日入会

佐野信用金庫
葛生支店 支店長

貢献できるよう頑張ります。



村上 勝彦

宇都宮陽北RC
2021年10月12日入会

社会保険労務士法人
村上事務所 代表社員

宜しくお願いします。



澤村 彬男

宇都宮南RC
2021年10月13日入会

株式会社栃木リスマネージメントセンター
代表取締役

ロータリークラブの活動を通して勉強させていただきます。宜しくお願いします。



倉橋 耕平

宇都宮90RC
2021年10月1日入会

株式会社川又興業
代表取締役

至らぬ点もあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。



白田 慎吾

宇都宮90RC
2021年10月18日入会

有限会社アイビーメタル
専務取締役

色々ご迷惑をおかけすると思いますが、何卒宜しくお願い致します。



澤田 守

宇都宮陽南RC
2021年7月15日入会

株式会社アイシステム設計
代表取締役

入会にあたり、どこまでクラブに貢献できるかわかりませんが、出来る範囲で精いっぱい頑張りたいと思います。



椎名 香枝

佐野東RC
2021年10月4日入会

シナコマース株式会社
代表取締役

女性会員が増え、活躍する時代が早く来る事を願い、まずは一歩踏み出します。



酒井 明美

栃木南RC
2021年10月21日入会

吹上幼稚園
園長

宜しくお願い致します。

入会おめでとうございます

2021-2022 地区内主要行事

月	日	曜日	曜日	開催方式	場 所	担 当
12	12	日		2022学年度米山記念奨学生面接選考試験	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会
12	19	日		第2回諮問委員会 ガバナーエレクト壮行会	ベルヴィ宇都宮	ガバナー事務所
12	19	日		22-23第2回ガバナー補佐研修		

2022年

月	日	曜日	曜日	開催方式	場 所	担 当
2	6	日		第3回諮問委員会	ベルヴィ宇都宮	ガバナー事務所
2	6	日		第2回地区運営委員会	ベルヴィ宇都宮	ガバナー事務所
2	12	土		宇都宮ロータリークラブ70周年記念式典	東武ホテルグランデ	
2	13	日		2022-23年度財団補助金管理セミナー	ベルヴィ宇都宮	地区ロータリー財団委員会
2	13	日		第6グループIM	サンプラザ	
2	13	日		22-23年度派遣学生 オリエンテーション	ホテルニューイタヤ 多氣山不動尊	地区青少年交換委員会
2	19	土		22-23年度地区チーム研修セミナー	ベルヴィ宇都宮	

月	日	曜日	曜日	開催方式	場 所	担 当
2	20	日		第4グループIM	フォーシーズン静風	
2	26	土		第9グループIM 15:00～	サンルート佐野	
2	27	日		米山 修了式・歓送会		地区米山記念奨学会委員会
3	5	土		第3グループAB IM	ホテルニューイタヤ	ホスト:宇都宮陽南RC
3	13	日		22-23年度 会長エレクト研修セミナー (PETS)	作新学院大学	ホスト:宇都宮陽東RC
3	13	日		22-23年度 幹事エレクト研修セミナー (SETS)	作新学院大学	ホスト:宇都宮陽東RC
4	10	日		22-23年度派遣学生 オリエンテーション	ホテルニューイタヤ	地区青少年交換委員会

コーディネーターニュース



コーディネーター NEWS

2021年11月号 No.1

発行: Region 1 & 2 & 3
 ローターリーコーディネーター
 ローターリー公共イメージコーディネーター

ブランドを育てる(ブランディング)

■ブランディングの意義

企業においてその名と活動の意義を広く社会に認知し理解してもらうことは、経営戦略いわゆるマーケティング戦略においてとても重要なことです。同様に奉仕と親睦を標榜し、職業人による世界的ネットワークを構築してきたロータリーにおいても、世界中の地域社会に好ましい変化をもたらす行動人として、その活動を認知してもらうことは公共イメージ向上にとって大変重要なことです。その本質は、ロータリーの存在意義(意味)とその活動の「魅力」を伝えていくことです。

そのためには「ロータリーのブランド」を育てていく必要があります。そもそも「ブランド」とは、焼き印のことで、特定生産者による商品を他のものと識別する手段として使われてきたものです。ブランドはロゴマークやその意味するものを企業と顧客との接点(タッチポイント)を通して、顧客に評価され、顧客の脳裏に蓄積されていく価値のことで、したがって「ブランディング」は、顧客の頭の中にブランドを構築し、価値を高めて確固たる評価を得ていくことです。つまりブランドを育てていくことです。「ロータリーのブランディング」においても、ロータリアン及び、クラブと地域住民や各種団体などのタッチポイントを通して、ロータリーの魅力を広く社会に認知され評価されていくことが求められます。

■インナーブランディングとアウトターブランディング

クラブや会員が各種の奉仕活動を通じて、地域住民や各種団体とのタッチポイントによる一貫性のある訴求行動をとっていくことが、ロータリーブランドの「らしさ」(価値)をつくるカギとなります。ロゴマークの入ったTシャツでの町の清掃や祭り、各種イベントでの協力、こういったその場その時のタッチポイントが公共イメージ浸透のカギとなります。ロータリー活動に関わるすべてのロータリアンが、何をなすべきか課題を明確に抱いて目標に向かって行動することが必要です。これを成功に導くためには、まず会員へ行動を促すためのロータリー研修、ことに公共イメージ向上のためのブランディング研修が欠かせません。この会員向けに行うブランドの意識づけが「インナーブランディング」です。

一方「アウトターブランディング」と呼ぶテレビや新聞、ネット記事などの外向けの宣伝広告あるいは展示会やイベントがあります。宣伝広告は広域にわたり広報されますが、かなりのコストがかかります。コストのかからない方法として、新聞や雑誌等のメディアに「記事」として取り上げてもらう「パブリシティ」がありますので、意義ある奉仕活動を記事に載せてもらうことも重要です。

■日経新聞に掲載

去る10月22日(金)の日経新聞にロータリーの記事が掲載されました。「地球の課題 今、解決へ若い力を」を大見出しに、辰野克彦RI理事がインタビューに答える形で、ロータリーとは、ロータリーの特色とは、世界での奉仕活動についてなど、思いを込め力強く述べられています。またロータリーの「とんがり」ともいふべき「ポリオ根絶」のメッセージ、日本独自の「米山記念奨学会」の紹介や、日本ロータリー黎明期のクラブも紹介されており、アウトターブランディングにとっても有効であると感じました。皆さんの地区や地元地域において、この日経新聞のようなマスメディアのメッセージを活用していただき、ロータリー活動を活発に行われることを期待いたします。

ブランディングの意義をご理解され、「インナーブランディング」と「アウトターブランディング」がうまく調和して一貫してロータリー活動が実施されれば、ロータリーと社会がつながり、クラブの活性化とロータリーの公共イメージ向上に大いに役立つものと信じます。

第2地域 ローターリー公共イメージコーディネーター補佐 高良 明(川崎西RC)



コーディネーター NEWS
 2021年11月号 No.2

発行：Region 1 & 2 & 3
 ロータリーコーディネーター
 ロータリー公共イメージコーディネーター

会員数9万人復活を！

昨年年初からあっという間にパンデミックを引き起こした新型コロナウイルス感染症ですが、わが国ではワクチン接種の進展に伴い、何とか収束の気配がしてきました。

全世界に衝撃をもたらしたこの新型コロナウイルスに、我々がロータリーも多大な影響を受け、その活動の停滞だけでなく、結果的にクラブ数や会員数にも大きな打撃を受けました。一昨年7月から見ると、日本でも34地区のうちクラブ数が増えたのは2730地区(鹿児島・宮崎)の1地区だけで、実に22地区でクラブの終結・減少がみられ、全地区で会員数が減少し、現在8.5万人と低迷しています(いずれも7月末対比)。ただ、その中で世界のロータリー会員数は、130万人を目指すシェカール・メータRI会長の「Each One, Bring One」の檄によって、今年6月に116万人台まで落ち込んでいたものが、10月には119万人にまで回復しています。

その会員増に貢献しているものに、2013年度から導入された「衛星クラブ」があります。「衛星クラブ」はわが国でも昨年度から各地区で具体的な取り組みが始まり、昨年度で9クラブ、今年度は7月に2クラブが誕生しています。そしてこの動きは「衛星クラブ」の理解度が徐々に高まってきたということだと思います。これからが楽しみです。是非、これからのロータリアンの登竜門としての「衛星クラブ」設立を検討してみてください。

さて、ロータリーの基本は“サービス”ですが、このロータリーサービスは行動があって初めて具現化されます。新型コロナ禍では、クラブ例会が休会に追い込まれたり、オンラインでの開催になるなど、クラブサービス活動にも制約を受け、更に目指す社会奉仕活動においても制限を強いられるようなものにせざるを得ない状況でした。でもそれも緊急事態宣言やまん延防止措置が解かれた今、私どもはその喜びを早速行動で表しましょう。そして各会員、各クラブ、そして各地区のロータリーサービスに勢いを感じられるものになれば、それがロータリーブランドの向上につながり、ひいては新会員の入会促進と会員の退会防止にもつながります。私共は会員一人一人の会員増強活動も大切ですが、各クラブ、各地区では、公共イメージ向上委員会と一体となって、ロータリーサービスの素晴らしさを社会の皆さん方に広めていき、クラブの門戸を叩く人を増やしていただければ、それは本当の基盤向上につながります。さあ、わが国でもあと8か月で、会員数9万人復活を実現しましょう！

第2地域 ロータリーコーディネーター補佐 神野 重行(名古屋名駅RC)



コーディネーター NEWS
 2021年12月号 No.1

発行：Region 1 & 2 & 3
 ロータリーコーディネーター
 ロータリー公共イメージコーディネーター

「ARCのつぶやき」

令和3年も残り僅かになりました。今年もコロナコロナで明け暮れてしまいました。10月に入り、感染者数が減少を続け、最近では人の往来が以前の日常に戻つつあるようです。

ロータリークラブにおいても例会のスタイルが元に戻りつつあるのではないのでしょうか？しかしながら飲食を伴う親睦の機会、感染対策の中で制限を続けています。ロータリーの楽しさをどう創造するか、さらに奉仕活動をどう展開するか、それぞれのクラブでご苦労が続いています。

シェカール・メータRI会長の呼びかけ「Each One, Bring One」への対応に頭を痛めているクラブは多そうです。あるクラブは5人の退会者が出て理由を聞くと、コロナによる経済的事情での退会は1名で、残りの会員はロータリーの活動が減少したことによる不満だったそうです。ロータリーの魅力について改めて考えさせられます。

「メダカはとかく群れたがる」と言います。日本人は「孤高」を重んじる場所があります。コロナ禍で人の交流機会が減少し、「孤高」は増えたと思いますが、ストレスがたまり精神的に病む人、40、50代の男性でも更年期症が増えていると聞きます。寿命を縮める最大の要因は「孤独」であるという研究があります。「孤高」が「孤独」にならないか心配です。

ロータリーはその点多種多様な職業人、専門職の会員が集まり、相談が出来たり、アイデア、ヒントを貰えます。特に若い会員にとって、仕事や人生の悩み解消に効果絶大です。何でも話せる仲間ができることはロータリーの最大の魅力ではないのでしょうか？

2690地区のクラブで今年度58名から66名へと8名の増強に成功したクラブがあります。男女4名ずつすべて若い世代です。将来的に衛星クラブ化する予定で、例会を別開催してとのこと。メンバーは会員の2世が中心で、親とは同じクラブには入らないというニーズに応えています。

会員維持にそれぞれ工夫をされていると思います。入会して間がない会員や年配会員へのフォローに気を配る必要があります。「孤独感」の解消にロータリー活動を活かしていきたいものです。

第3地域 ロータリーコーディネーター補佐 庄司 尚史(境港RC)

ロータリーの公共イメージの重要性について

ロータリーを発展させるためには、ロータリーが世界や地域社会の変化に適応し、必要とされる団体として変化していかなければなりません。

そのためにも、将来を見据えたビジョンが必要であり、組織を強化し、ロータリーの基本理念を達成するための戦略計画が重要となりました。はじめに組織を強化するための3つの優先項目が決められ、その一つが「公共イメージと認知度の向上」でした。他は「クラブのサポートと強化」、「人道的奉仕の重点化と増加」であったことはご存じの通りです。即ち、この3つは組織を強化するために関連があり連携をすることによって会員基盤向上につながるようになります。

また、クラブは「クラブ管理運営委員会」、「会員増強委員会」、「公共イメージ委員会」、「ロータリー財団委員会」、および「奉仕プロジェクト委員会」の設置が推奨されるようになりました。2017年度からは、「世界を変える行動人」キャンペーンが始まりました。2019年から優先項目は新たに4つの優先事項に変わり、「より大きなインパクトをもたらす」、「参加者の基盤を広げる」、「参加者の積極的なかわりを促す」、「適応力を高める」と行動計画を推進するようになりました。

公共イメージ委員会の役割は、会員がロータリーやクラブについてどう語るかによって、ロータリーとその活動や基本理念に対する一般の人びとの認識が形づくられます。確固たる公共イメージが築かれれば、地域社会や世界の課題に果敢に取り組む「行動人」としてのロータリアンの姿は、全世界一貫とした姿で、地域社会に知ってもらえるようになるでしょう。

「ロータリーは、さまざまな国や文化、職業のリーダーのネットワークであり、交流を通じてアイデアを広げ、世界中の地域社会で行動をしています」この言葉は、私たちが考えているロータリーを表しているロータリーのエッセンスです。

ロータリーの公共イメージとは、「私たち自身がどう考えるか」だけでなく、「外部の人びとがロータリーについてどう感じるか」を含みます。

「ロータリー」という名を知ってもらうことはもちろん大切ですが、それだけでは十分ではありません。ロータリーの活動とそのインパクトを理解してもらってはじめて、参加への関心が生まれるからです。そのためには、ロータリーについてどう伝えるかがカギとなります。公共イメージを好ましいものにすることは、なぜ必要なのでしょう。それは、ロータリーが認知されていても、必ずしもロータリーへの関心や参加に結びつくわけではないからです。

ロータリーでは、各々の会員がブランドの推進者となります。ロータリーを知らない人の認識と理解を深めることができるのは、ロータリーを既に経験している会員をおいてほかにありません。地元市民がロータリーに対して抱く印象は、クラブが地域社会とどう関わることが大きく影響します。

コロナ禍の中で、暗いニュースがメディアにおいて氾濫する時代だからこそ、それぞれの地域社会で問題解決に取り組み、行動を通じて変化をもたらしているロータリー会員の姿を伝えることが重要なのです。10月24日の「世界ポリオデー」の活動は地域社会に大きなインパクトを与えたと思います。

2750地区主催「世界ポリオデー」トレーニングプロジェクトの様子をYouTubeをご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=8iW9aQMjTME>

第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター 山下 皓三(鹿児島西RC)

物故会員

訃報 ご冥福をお祈りいたします



さかた さなえ
坂田 早苗

宇都宮東RC
2021年10月11日逝去(享年87歳)
1995年12月12日入会

ロータリー歴
クラブ 2011-12年度 奉仕委員長 2012-13年度 会長
マルチプル・ポール・ハリスフェロー3回
ベネファクター



さかわ てつぞう
佐川 徹三

鹿沼RC
2021年11月12日逝去(享年68歳)
1983年6月23日入会

ロータリー歴
クラブ 2009-10年度 鹿沼第50代会長
マルチプル・ポール・ハリスフェロー6回
米山功労者3回

<矢板RC>クラブ事務所変更のお知らせ

新クラブ事務所 〒329-2135 栃木県矢板市中2014-12 学研なか教室内
電話 090-2470-8483 FAX 0287-44-2070

10月会員数報告

	クラブ名	例会数	会員数									
			7月	今月	人会	退会	通算増	通算減	増減	内女性	40歳未満	
第1グループ	大田原	0	29	29	0	0	0	0	0	0	1	0
	黒磯	3	36	37	0	0	1	0	1	2	1	
	西那須野	2	47	47	0	0	1	1	0	2	0	
	黒羽	4	7	7	0	0	0	0	0	0	0	
	大田原中央	2	24	24	0	0	0	0	0	1	2	
第2グループ	鳥山	3	17	16	0	0	0	1	-1	2	0	
	氏家	4	24	24	0	0	0	0	0	2	0	
	矢板	4	10	10	0	0	0	0	0	1	0	
	馬頭小川	3	21	21	0	0	0	0	0	0	0	
	高根	2	15	15	0	0	0	0	0	0	0	
第3グループA	宇都宮	4	101	105	1	0	4	0	4	3	1	
	宇都宮西	3	75	75	0	1	1	1	0	0	1	
	宇都宮北	4	43	43	0	0	1	1	0	0	0	
	宇都宮90	3	46	47	2	1	2	1	1	6	3	
	(宇都宮90結・衛星)	1	6	6	0	0	0	0	0	4	2	
第3グループB	宇都宮陽北	4	46	47	1	0	1	0	1	9	8	
	宇都宮東	4	112	113	0	0	4	3	1	0	4	
	宇都宮南	5	54	56	1	0	2	0	2	6	1	
	宇都宮陽東	3	49	50	1	0	1	0	1	8	1	
	宇都宮陽南	4	24	25	0	0	1	0	1	7	4	
第4グループ	宇都宮さつき	3	25	26	1	0	1	0	1	4	4	
	真岡	3	57	57	0	0	0	0	0	0	0	
	益子	4	28	29	1	0	1	0	1	2	1	
	真岡西	4	35	36	0	0	2	1	1	5	0	
	しもつけ	4	20	19	0	0	0	1	-1	3	1	

	クラブ名	例会数	会員数									
			7月	今月	人会	退会	通算増	通算減	増減	内女性	40歳未満	
第5グループ	小山	2	22	22	0	0	3	3	0	1	0	
	小山南	2	15	14	0	0	0	1	-1	2	0	
	小山東	2	21	21	0	0	0	0	0	0	0	
	小山北	4	24	24	0	0	0	0	0	0	4	
第6グループ	小山中央	2	24	24	0	0	0	0	0	2	0	
	栃木	4	46	49	0	0	3	0	3	5	0	
	栃木西	4	34	34	0	0	0	0	0	1	0	
	岩舟	3	11	11	0	0	0	0	0	0	0	
	壬生	3	20	20	0	0	0	0	0	0	0	
第7グループ	栃木南	3	36	36	0	0	0	0	0	6	1	
	日光	4	21	21	0	0	0	0	0	4	0	
	鹿沼	3	62	62	0	0	0	0	0	2	4	
	今市	4	41	42	0	1	2	1	1	1	0	
	鹿沼東	3	37	37	0	0	0	0	0	5	0	
第8グループ	鹿沼中央	2	17	17	0	0	0	0	0	2	0	
	今市きぬ	3	27	29	0	0	2	0	2	0	0	
	足利	5	21	21	0	0	0	0	0	0	1	
	足利東	3	34	34	0	0	0	0	0	4	0	
	足利西	2	11	11	0	0	0	0	0	1	0	
第9グループ	足利わたらせ	2	35	35	0	0	0	0	0	0	0	
	佐野	2	55	56	0	0	1	0	1	0	0	
	葛生	2	39	38	0	0	2	3	-1	0	0	
	田沼	2	43	43	0	0	0	0	0	0	0	
	佐野東	2	21	22	1	0	1	0	1	2	0	
	4 8 R C		1668	1687	9	3	37	18	19	108	44	

(メイクアップは同じ年度内に行うことができるようになった為、地区では各クラブごとの出席率は掲載いたしません。)



国際ロータリー第2550地区 ガバナー事務所

〒321-0945 宇都宮市宿郷5-21-15

バルヴィ宇都宮内1F

TEL:028-651-2550 FAX:028-651-2551

e-mail : m2550@agate.plala.or.jp URL : http://www.rid2550.com/